

〈 乳児一般健康診査の部 〉



I 一般健診の部

1 実施状況

沖縄県内40市町村で、平成28年4月1日から平成29年3月31日までに、延べ30,247人が乳児一般健康診査を受診した。

受診月齢12か月以上及び県外からの里帰り等による受診児152人は、対象から除き30,095人について集計した。

乳児一般健康診査の実施体制としては、町村が土曜日（午後）の半日で年に4～8回の実施、市は主に日曜日に対象を乳児前期・後期に分ける方法で月に1～3回の実施となっている。

小規模離島町村の健康診査は年2回の実施も多く、健診日の設定により受診月齢が1か月～2か月児や12か月以降になることもある。

報告書の乳児対象者数とは、乳児期に市町村から2回健診通知された合計数である。市町村は未受診児対策として、再通知等を行ない受診勧奨しているところも多い。

対象外児として152人を集計から除く

圏域	市町村
北部	国頭村3人 大宜味村1人 本部町2人 伊江村4人 伊平屋村1人 伊是名村2人
中部	宜野座村11人 金武町10人 うるま市1人 沖縄市13人 読谷村3人
	嘉手納町4人 北谷町12人 宜野湾市7人
那覇 南部	那覇市27人 浦添市8人 豊見城市22人 八重瀬町6人 与那原町2人
	南風原町2人 渡嘉敷村1人 南大東村3人
宮古	宮古島市3人
八重山	石垣市1人 竹富町2人 与那国町1人

注) 南城市は受託外

(参照) 統計資料 No. 3 参考資料 No. 2

2 受診状況

乳児一般健康診査受診状況 (回数・月齢別)

単位：人

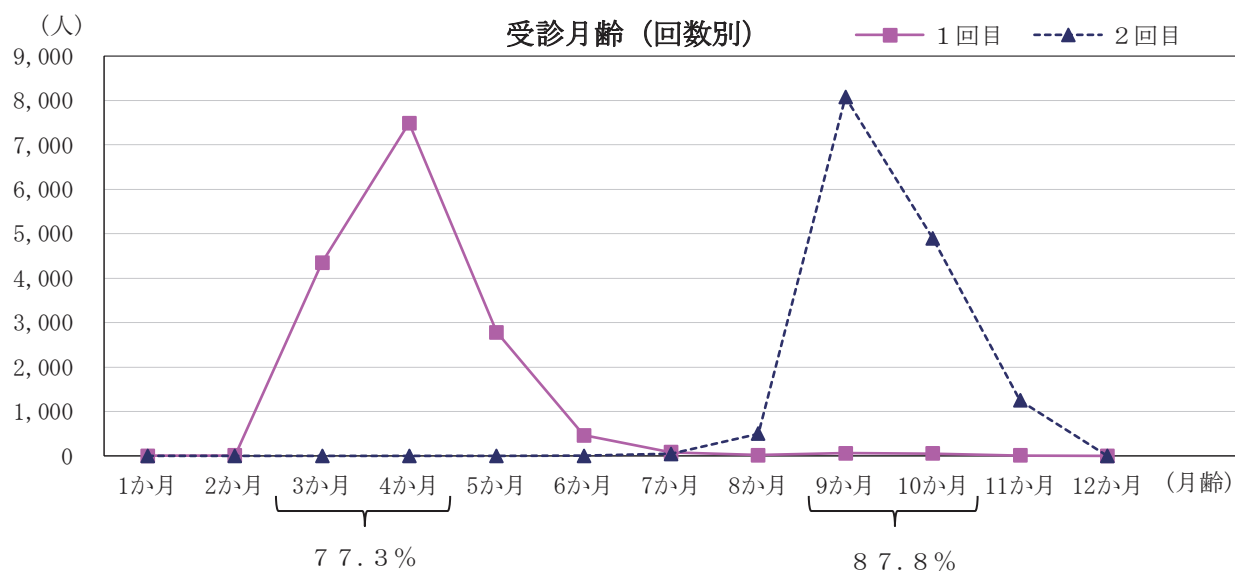
月齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計	
1 回 目	男	1	5	2,239	3,859	1,419	230	52	9	29	28	4	7,875
	女	-	7	2,116	3,635	1,361	231	32	9	28	27	3	7,449
	小計	1	12	4,355	7,494	2,780	461	84	18	57	55	7	15,324
2 回 目	男	-	-	-	-	-	2	32	257	4,188	2,519	654	7,652
	女	-	-	-	-	-	2	16	242	3,887	2,375	597	7,119
	小計	-	-	-	-	-	4	48	499	8,075	4,894	1,251	14,771
計	男	1	5	2,239	3,859	1,419	232	84	266	4,217	2,547	658	15,527
	女	-	7	2,116	3,635	1,361	233	48	251	3,915	2,402	600	14,568
	総計	1	12	4,355	7,494	2,780	465	132	517	8,132	4,949	1,258	30,095
受診数に 対する割合	0.0	0.0	14.5	24.9	9.2	1.5	0.4	1.7	27.0	16.4	4.2	(%) 100.0	
期	(前) 15,107						(後) 14,988						

(参照) 統計資料 No. 1～2

乳児一般健康診査の望ましい受診月齢は、1回目が3～4か月（前期）、2回目が9～10か月（後期）とされている。沖縄県全体をみると、1回目3～4か月の受診は11,849人[77.3%]（H27年度78.1%）、2回目9～10か月は12,969人[87.8%]（H27年度86.7%）となっており、ほぼ適正な月齢に実施されている。

実施回数の少ない離島や対象者の少ない町村では、実施月齢にばらつきがみられる。

受診児（1回目と2回目の延べ）を性別にみると、男15,527人、女14,568人である。



乳児一般健康診査の受診率は、市町村の平成28年度対象者数32,884人で算出すると、全体として91.5%となっている。

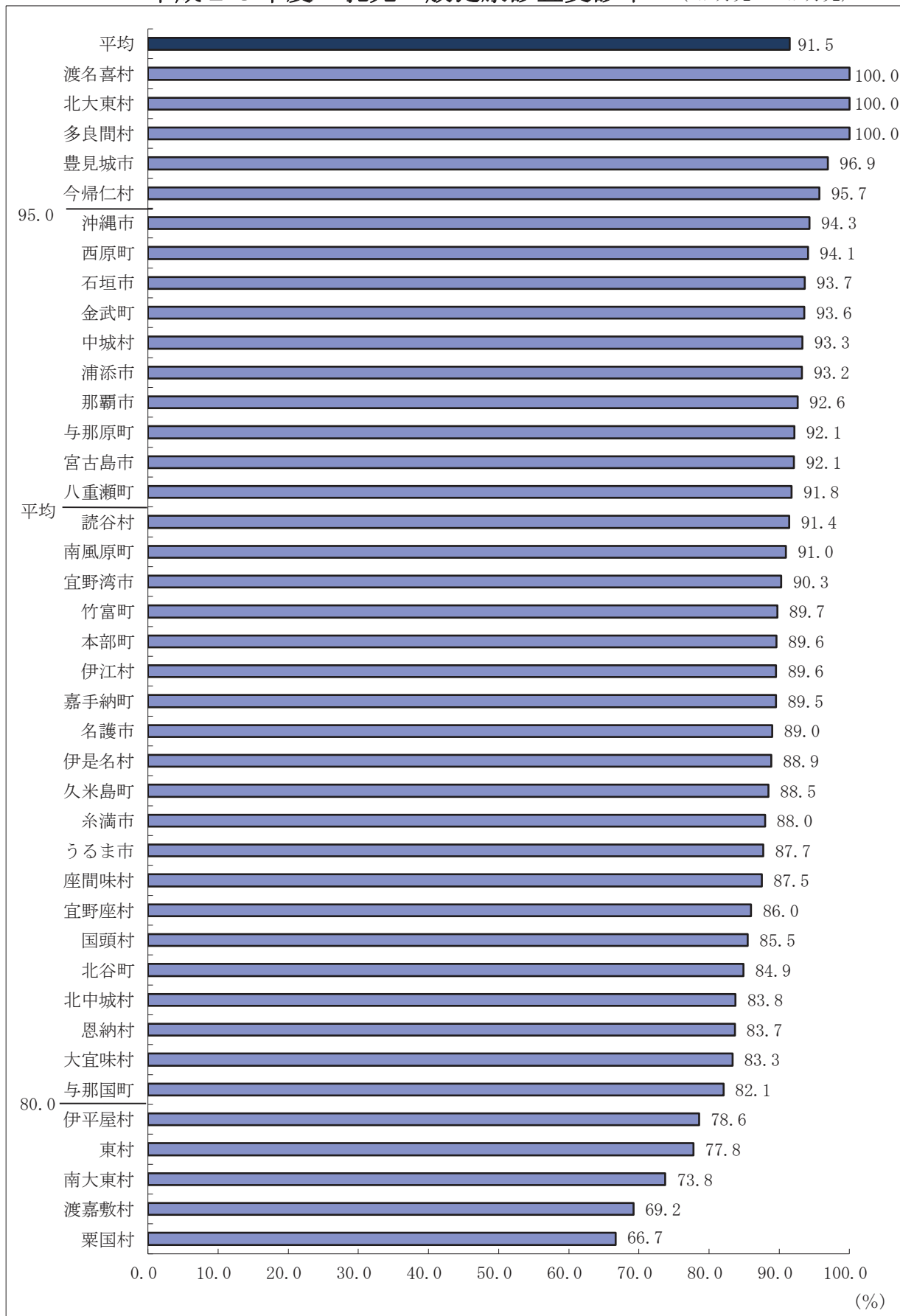
ちなみに、沖縄県の平成28年（H28.1.1～H28.12.31）概算出生数16,297人（男8,386人、女7,911人）の単純対象数で算出すると、1回目が94.0%で、2回目が90.6%となる。

乳児一般健康診査受診率 (回数別)

	対象者数 (概算出生数)	受診者数	受診率 (%)
1回目	16,297	15,324	94.0
2回目	16,297	14,771	90.6
計	32,594	30,095	92.3

注) 乳児期は、公費による受診機会が1人2回提供される

平成28年度 乳児一般健康診査受診率 (0か月児～11か月児)



(参照) 統計資料 No. 3

3 出生直後の状況

3-1 在胎週数と出生時体重（1回目受診時）

受診1回目の月齢6か月までの児を在胎週数と出生時体重別に分類したものである。

在胎週数	出生時体重						計
	1,000g未満	1,000～1,449g	1,500～1,999g	2,000～2,499g	2,500g以上	記入なし	
満27週未満	5	1	-	-	1	-	7
28～35週	4	44	96	185	59	1	389
36～39週	-	2	71	1,000	8,879	14	9,966
満40週以上	-	-	-	71	4,557	11	4,639
記入なし	-	-	1	5	91	5	102
計	9	47	168	1,261	13,587	31	15,103

注) 平成25年の低出生体重児に関する調査によると、低出生体重児は出生体重が小さい程病院で経過観察されている。

3-2 お産のとき（1回目受診時）

お産時の状況をみると、正常分娩が65.9%で異常分娩が34.1%となっている。異常分娩の内訳では帝王切開66.6%と高い割合になっている。

正常分娩	異常分娩	小計	記入なし	計
10,084	5,228	15,312	12	15,324
65.9	34.1	100.0	-	-

単位：件

異常分娩（再掲）	異常分娩内訳（複数選択）									
	骨盤位	吸引	鉗子	帝王切開	前期破水	臍帯巻絡	出血	早産	子宮内感染	その他
5,228	306	1,188	10	3,482	438	105	133	348	19	108
%	5.9	22.7	0.2	66.6	8.4	2.0	2.5	6.7	0.4	2.1

（参照）統計資料 No. 19

3-3 生まれたとき（1回目受診時）

なし	あり				小計	記入なし	計
		正常	再検査	不明			
4,533	9,490	9,317	55	118	14,023	1,301	15,324
32.3	67.7	(99.4)	(0.6)	-	100.0	-	-

注) () は検査ありのうち、不明を除いた数を分母に算出した割合。

○H26年度厚生労働省の調査に基づく初回検査実施率は78.9%。

（参照）統計資料 No. 21

4 乳児の栄養法（2回目受診時）

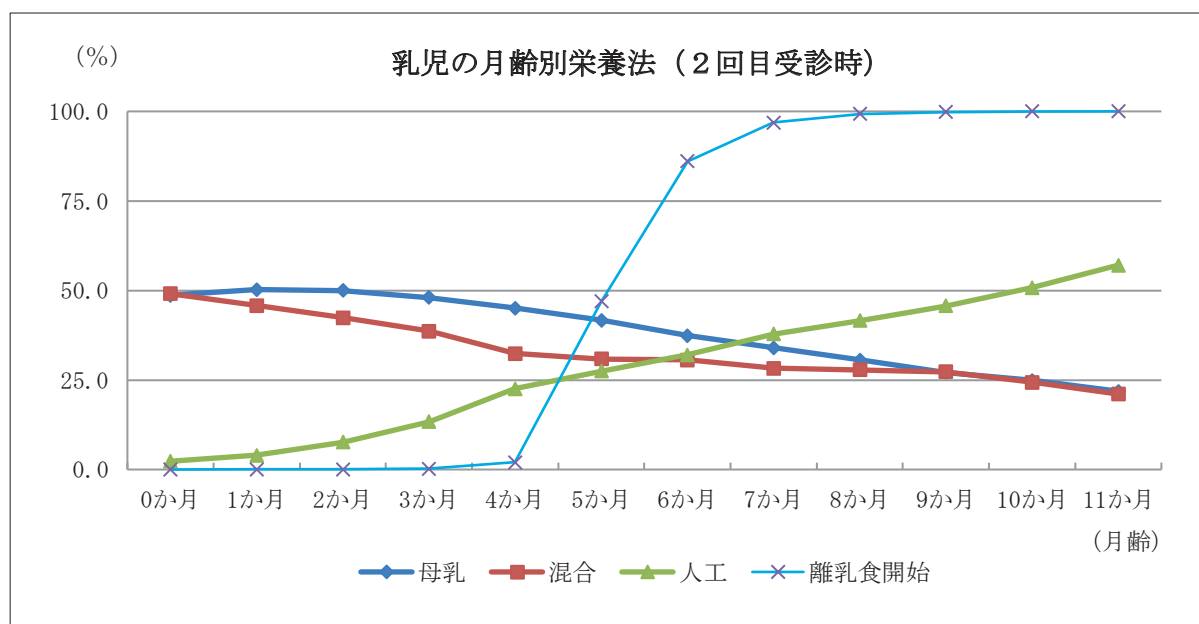
4-1 月齢別栄養法と離乳食の実施状況

受診2回目の14,771人の乳児を対象に栄養法を分類すると、生後3か月を経過した頃から、人工栄養への移行傾向がみられる。11か月児で母乳栄養は21.9%である。

単位：人

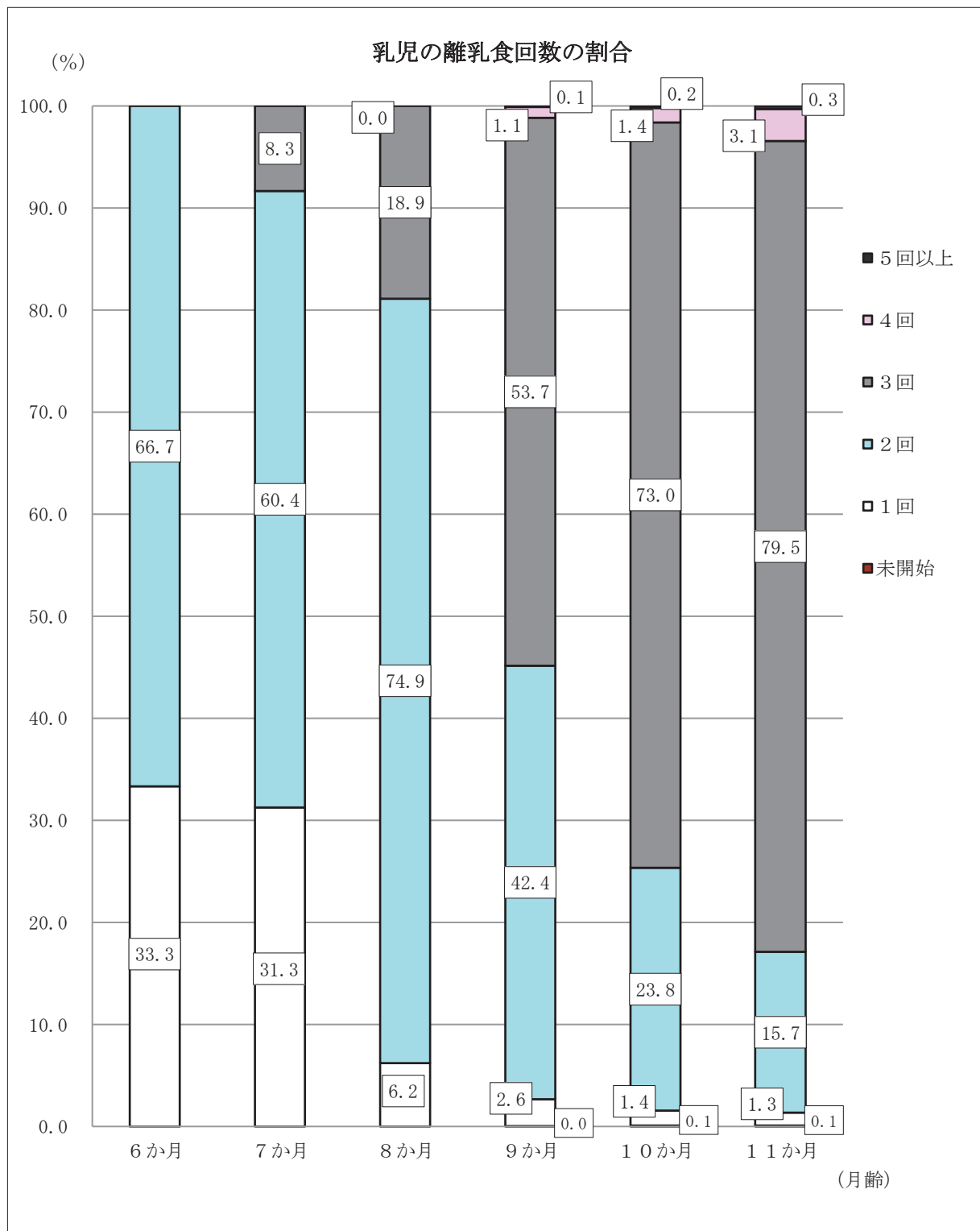
月齢 (時)	受診者数 (人)	母乳 (%)	混合 (%)	人工 (%)	離乳食実施状況 (%)
0か月	14,682	48.6	49.1	2.3	-
1か月	14,660	50.3	45.8	4.0	-
2か月	14,643	49.9	42.4	7.7	0.0
3か月	14,624	48.0	38.6	13.4	0.2
4か月	14,586	45.1	32.4	22.6	2.0
5か月	14,550	41.7	30.9	27.4	46.9
6か月	14,525	37.3	30.6	32.0	86.1
7か月	14,513	34.0	28.2	37.8	96.8
8か月	14,448	30.6	27.9	41.6	99.3
9か月	14,061	27.1	27.3	45.7	99.8
10か月	6,086	24.9	24.3	50.8	100.0
11か月	1,244	21.9	21.1	57.1	100.0
割合	-	40.5	34.8	24.7	-

注) 月齢別栄養法の分類とは、月齢ごとに栄養法を単純に分類したものである。



4-2 月齢別離乳食回数

離乳食が開始されるのは5か月頃からである。その離乳食回数について、6か月から11か月児までを対象に示した。



4-3 離乳食の状況

○離乳食の開始月齢（10か月児）

単位：人

開始月齢	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	小計	未開始	記入なし
	11	107	2,116	1,921	560	134	43	10	4,902	-	47
%	0.2	2.2	43.2	39.2	11.4	2.7	0.9	0.2	100.0	-	-

○離乳食の食べ方（6か月～11か月児）

単位：人

月齢	よく食べる	嫌がる	時間がかかる	内容不明	小計	未開始	記入なし
6か月	3	1	-	-	4	-	-
%	75.0	25.0	-	-	100.0	-	-
7か月	39	4	5	-	48	-	-
%	81.3	8.3	10.4	-	100.0	-	-
8か月	417	32	45	4	498	-	1
%	83.7	6.4	9.0	0.8	100.0	-	-
9か月	6,790	431	742	100	8,063	4	8
%	84.2	5.3	9.2	1.2	100.0	-	-
10か月	4,180	213	441	48	4,882	5	7
%	85.6	4.4	9.0	1.0	100.0	-	-
11か月	1,094	33	108	14	1,249	1	1
%	87.6	2.6	8.6	1.1	100.0	-	-
計	12,523	714	1,341	166	14,744	10	17
%	84.9	4.8	9.1	1.1	100.0	-	-

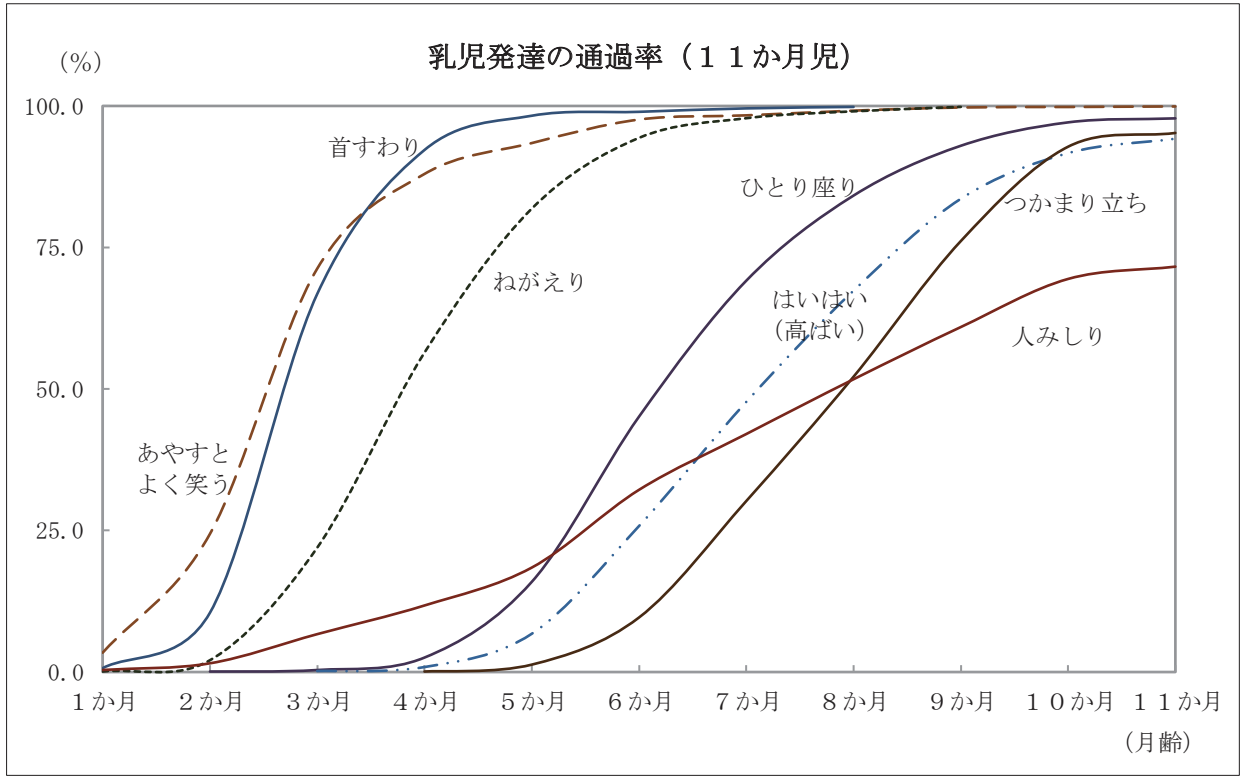
○ベビーフードの利用（6か月～11か月児）

単位：人

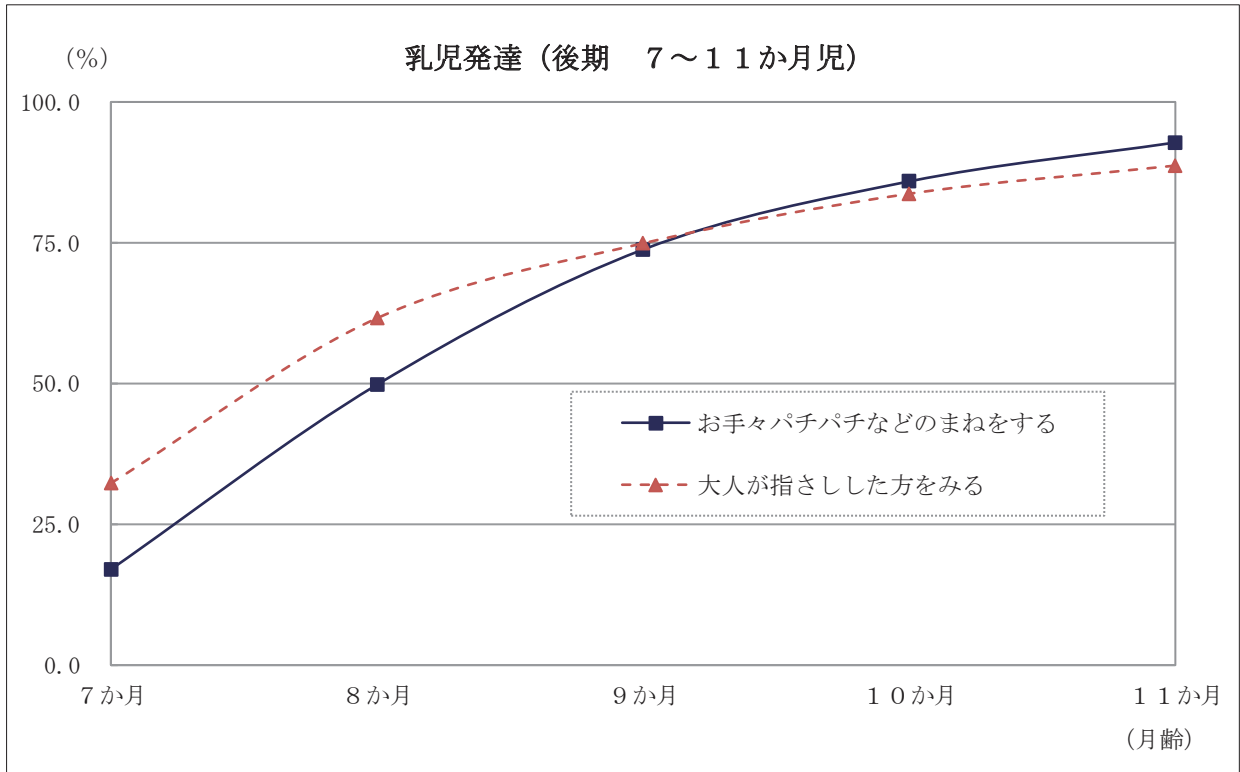
月齢	使わない	時々	よく使う	内容不明	小計	未開始	記入なし
6か月	1	3	-	-	4	-	-
%	25.0	75.0	-	-	100.0	-	-
7か月	14	18	15	1	48	-	-
%	29.2	37.5	31.3	2.1	100.0	-	-
8か月	138	237	123	-	498	-	1
%	27.7	47.6	24.7	-	100.0	-	-
9か月	2,431	4,162	1,440	30	8,063	4	8
%	30.2	51.6	17.9	0.4	100.0	-	-
10か月	1,576	2,571	723	12	4,882	5	7
%	32.3	52.7	14.8	0.2	100.0	-	-
11か月	375	676	192	6	1,249	1	1
%	30.0	54.1	15.4	0.5	100.0	-	-
計	4,535	7,667	2,493	49	14,744	10	17
%	30.8	52.0	16.9	0.3	100.0	-	-

5 発達

乳児の運動発達について、受診時の月齢が11か月児1,258人を対象に分類した。



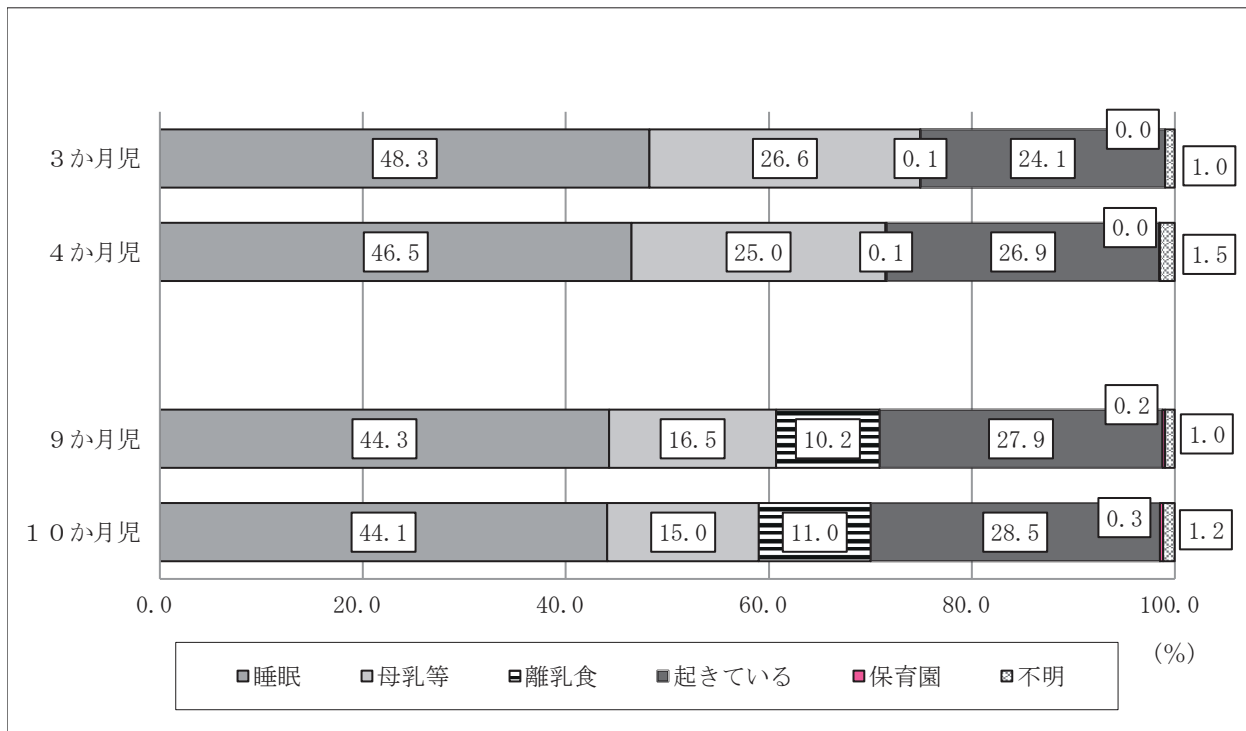
乳児の社会性発達については、受診時の月齢が7～11か月の児14,988人を対象に分類した。



6 乳児の生活リズム

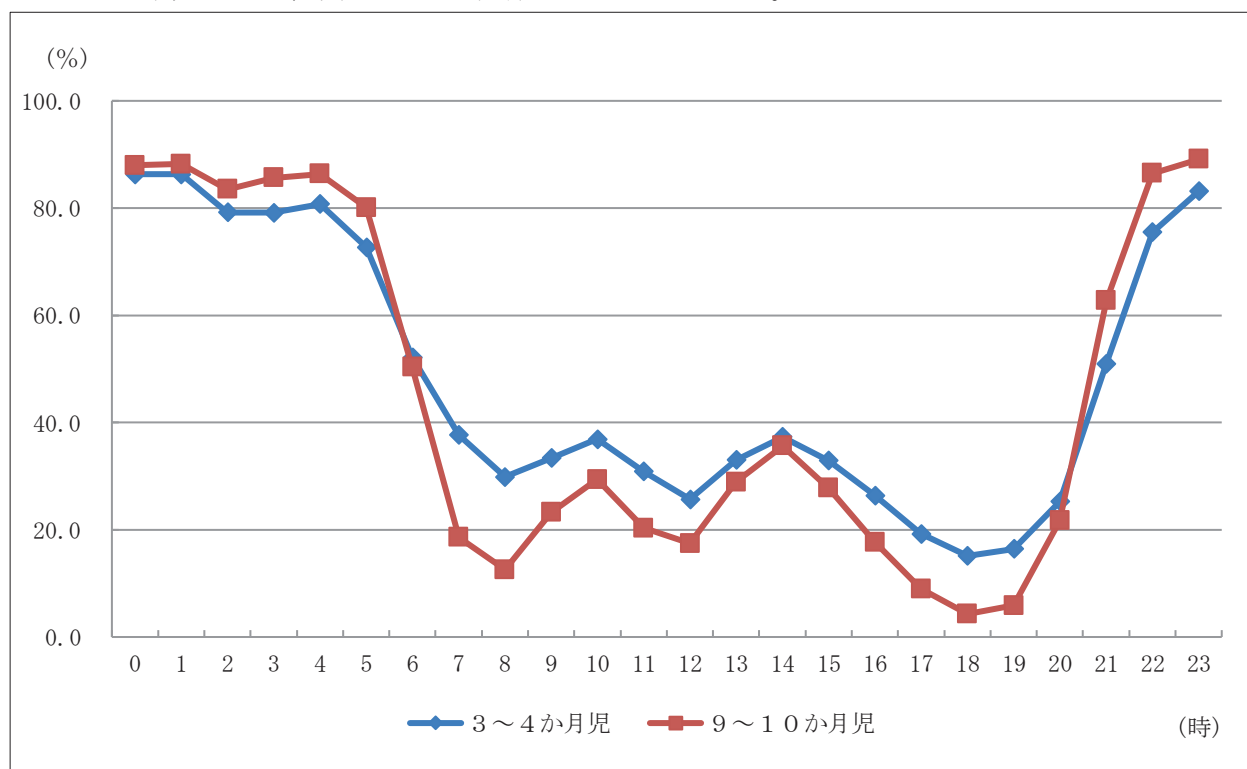
○乳児の一日の生活状況（3～4か月児・9～10か月児）

乳児の一日の生活リズムの割合を示したものである。



○乳児の一日の睡眠リズム（3～4か月児・9～10か月児）

24時間における、乳児の睡眠の割合を示したものである。



7 診察・検査結果

平成28年度の乳児一般健康診査の受診児は30,095人で、医師総合判定の結果、問題なし児が22,305人(74.1%)、要相談等の何らかの判定がある児が7,790人(25.9%)となっている。その判定のある児の診察所見および検査については、診察所見のある児が5,573件、検査結果の異常がある児は3,152件で、延べ8,725件となっている。判定結果および診察所見について分類したものを以下に示す。

なお、平成28年度は、乳児の検査について見直しを行い、尿検査を廃止し後期の貧血検査のみとした。

単位：人

判定		問題なし	判定結果異常等（実人員）						小計
			要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中	
受診者数	30,095	22,305	2,998	769	2,717	67	491	748	7,790
%	100.0	74.1	10.0	2.6	9.0	0.2	1.6	2.5	-

(診察所見及び検査の内訳)

計	(1) 診察有所見	(2) 貧血検査の異常
8,725	5,573	3,152

(1) 有所見 (件数)	(有所見内訳)					
	発育	皮膚	頭頸部	顔面・ 口腔	眼	耳鼻 咽喉
小計	796	2,029	107	139	83	86

(有所見内訳)						
胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	発達・ 神経	その他の 異常
275	180	272	45	1,260	155	146

(参照) 統計資料 No. 5~6

7-1 診察有所見の内訳

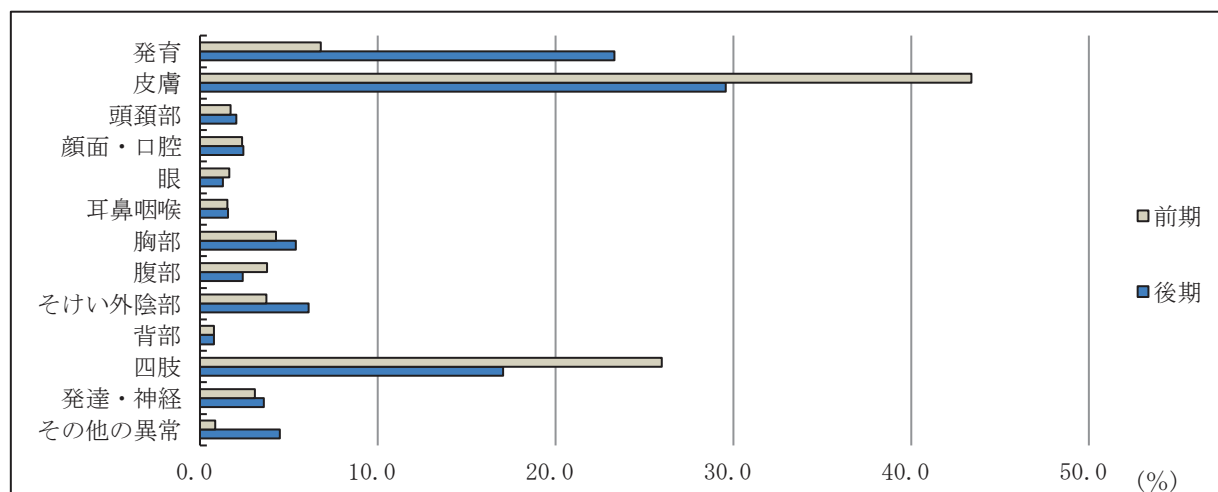
有所見の内訳

受診者数30,095人のうち、総合判定の結果、問題なし児が22,305人(74.1%)、判定に異常等あり児が7,790人(25.9%)となっている。異常等あり児のなかで診察有所見のある児は5,573件(71.5%)である。

診察有所見は、複数記入がある場合、同部位内はシステム上1件のカウントになっている。部位内のすべての所見を含め延べ件数として示した。

		計	発育	皮膚	頭頸部	顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉
件数	前期	3,009	208	1,276	53	74	50	45
	後期	2,564	588	753	54	65	33	41
	計	5,573	796	2,029	107	139	83	86
延べ件数	前期	3,124	212	1,356	54	74	51	48
	%	100.0	6.8	43.4	1.7	2.4	1.6	1.5
	後期	2,657	619	786	54	65	34	42
	%	100.0	23.3	29.6	2.0	2.4	1.3	1.6
	計	5,781	831	2,142	108	139	85	90

		胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	発達・神経	その他の 異常
件数	前期	134	118	113	24	809	78	27
	後期	141	62	159	21	451	77	119
	計	275	180	272	45	1,260	155	146
延べ件数	前期	134	118	117	25	811	97	27
	%	4.3	3.8	3.7	0.8	26.0	3.1	0.9
	後期	143	64	162	21	453	95	119
	%	5.4	2.4	6.1	0.8	17.0	3.6	4.5
	計	277	182	279	46	1,264	192	146

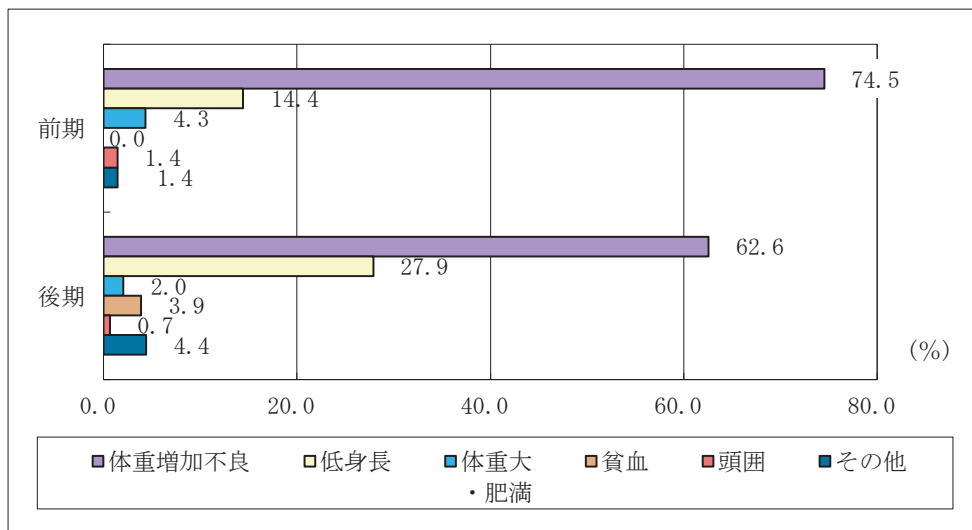


(参照) 統計資料 No. 5~6

①<発育>

単位：件

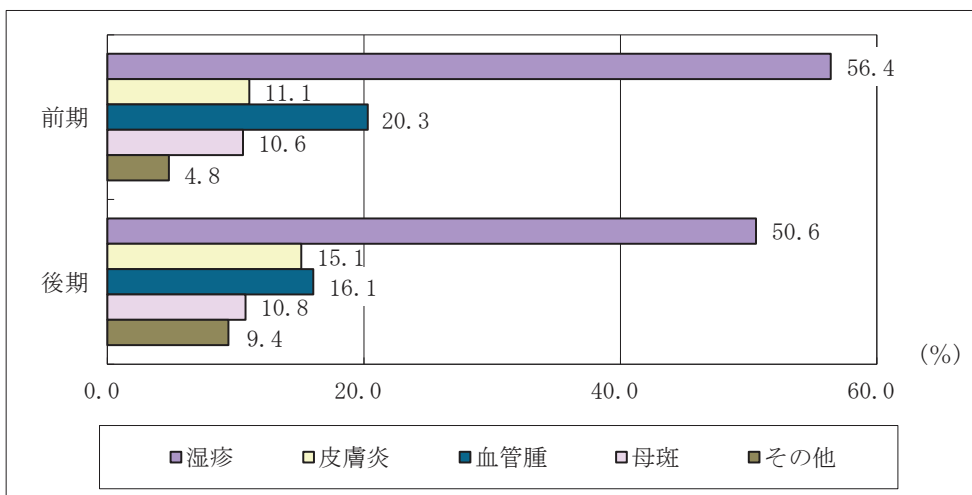
件数		体重増加不良	低身長	体重大・肥満	貧血	頭囲	その他	記入なし	延べ件数
前期	208	155	30	9	-	3	3	12	212
%	26.1	74.5	14.4	4.3	-	1.4	1.4	5.8	-
後期	588	368	164	12	23	4	26	22	619
%	73.9	62.6	27.9	2.0	3.9	0.7	4.4	3.7	-
計	796	523	194	21	23	7	29	34	831
%	100.0	65.7	24.4	2.6	2.9	0.9	3.6	4.3	-



②<皮膚>

単位：件

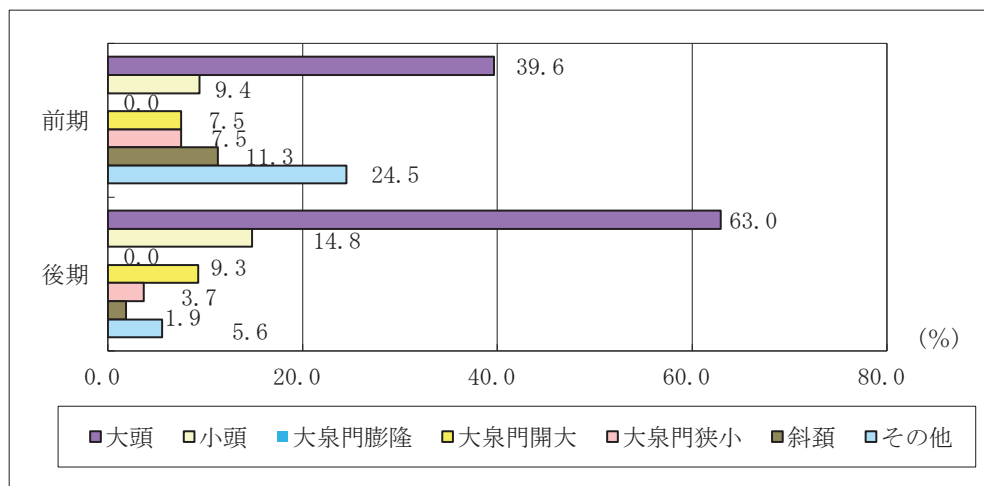
件数		湿疹	皮膚炎	血管腫	母斑	その他	記入なし	延べ件数
前期	1,276	720	141	259	135	61	40	1,356
%	62.9	56.4	11.1	20.3	10.6	4.8	3.1	-
後期	753	381	114	121	81	71	18	786
%	37.1	50.6	15.1	16.1	10.8	9.4	2.4	-
計	2,029	1,101	255	380	216	132	58	2,142
%	100.0	54.3	12.6	18.7	10.6	6.5	2.9	-



③<頭頸部>

単位：件

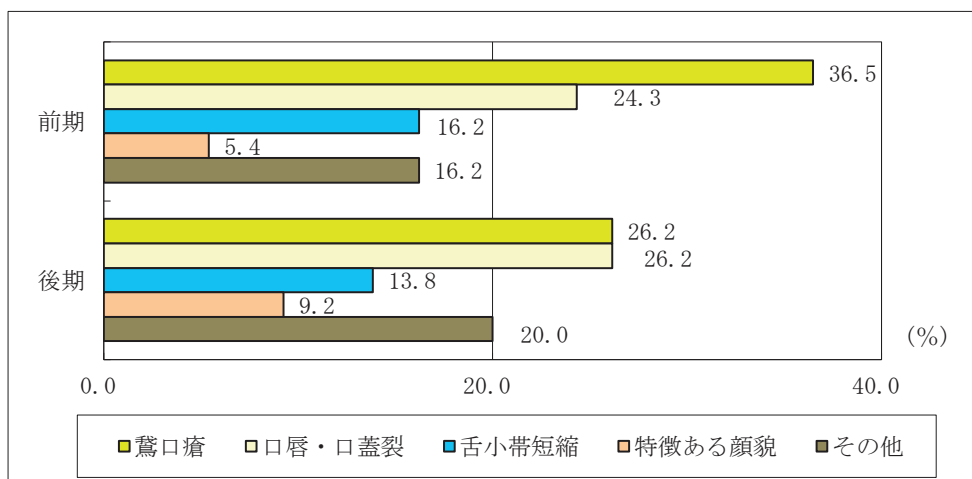
件数		大頭	小頭	大泉門膨隆	大泉門開大	大泉門狭小	斜頸	その他	記入なし	延べ件数
前期	53	21	5	-	4	4	6	13	1	54
%	49.5	39.6	9.4	-	7.5	7.5	11.3	24.5	1.9	-
後期	54	34	8	-	5	2	1	3	1	54
%	50.5	63.0	14.8	-	9.3	3.7	1.9	5.6	1.9	-
計	107	55	13	-	9	6	7	16	2	108
%	100.0	51.4	12.1	-	8.4	5.6	6.5	15.0	1.9	-



④<顔面・口腔>

単位：件

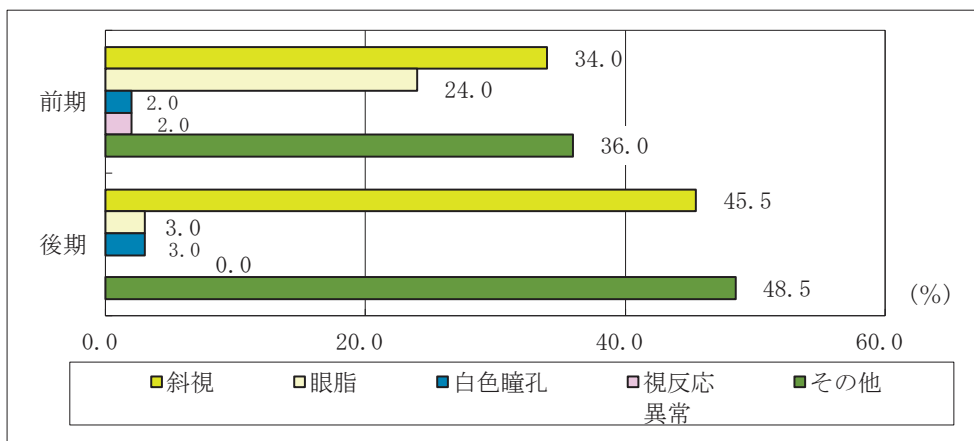
件数		鵞口瘡	口唇・口蓋裂	舌小帯短縮	特徴ある顔貌	その他	記入なし	延べ件数
前期	74	27	18	12	4	12	1	74
%	53.2	36.5	24.3	16.2	5.4	16.2	1.4	-
後期	65	17	17	9	6	13	3	65
%	46.8	26.2	26.2	13.8	9.2	20.0	4.6	-
計	139	44	35	21	10	25	4	139
%	100.0	31.7	25.2	15.1	7.2	18.0	2.9	-



⑤<眼>

単位：件

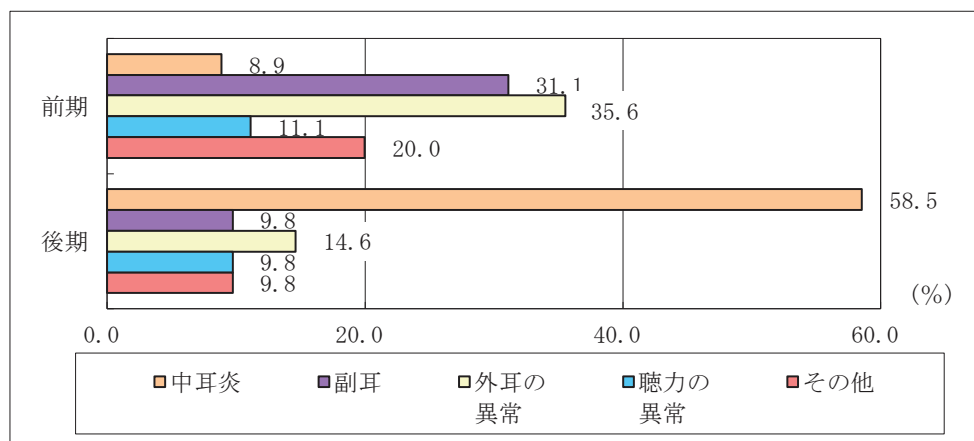
件数		斜視	眼脂	白色瞳孔	視反応異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	50	17	12	1	1	18	2	51
%	60.2	34.0	24.0	2.0	2.0	36.0	4.0	-
後期	33	15	1	1	-	16	1	34
%	39.8	45.5	3.0	3.0	-	48.5	3.0	-
計	83	32	13	2	1	34	3	85
%	100.0	38.6	15.7	2.4	1.2	41.0	3.6	-



⑥<耳鼻咽喉>

単位：件

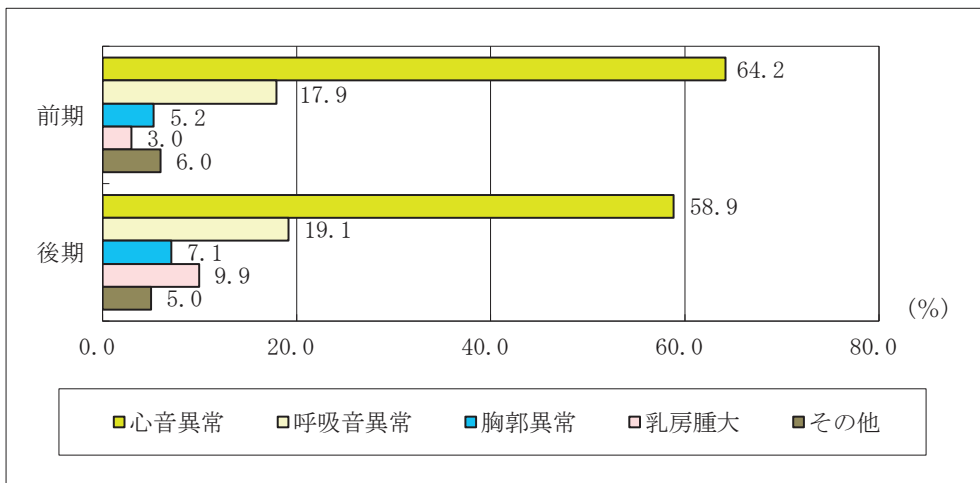
件数		中耳炎	副耳	外耳の異常	聴力の異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	45	4	14	16	5	9	-	48
%	52.3	8.9	31.1	35.6	11.1	20.0	-	-
後期	41	24	4	6	4	4	-	42
%	47.7	58.5	9.8	14.6	9.8	9.8	-	-
計	86	28	18	22	9	13	-	90
%	100.0	32.6	20.9	25.6	10.5	15.1	-	-



⑦<胸部>

単位：件

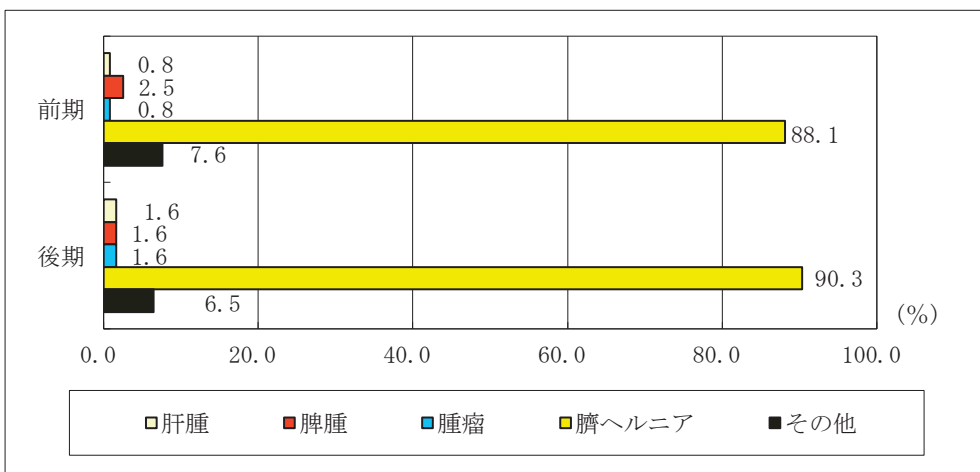
件数		心音異常	呼吸音異常	胸郭異常	乳房腫大	その他	記入なし	延べ件数
前期	134	86	24	7	4	8	5	134
%	48.7	64.2	17.9	5.2	3.0	6.0	3.7	-
後期	141	83	27	10	14	7	2	143
%	51.3	58.9	19.1	7.1	9.9	5.0	1.4	-
計	275	169	51	17	18	15	7	277
%	100.0	61.5	18.5	6.2	6.5	5.5	2.5	-



⑧<腹部>

単位：件

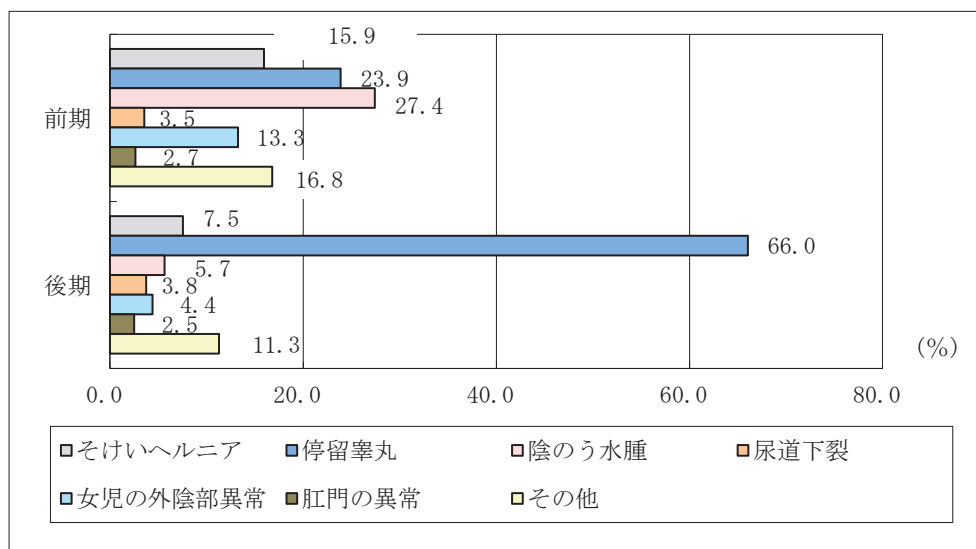
件数		肝腫	脾腫	腫瘤	臍ヘルニア	その他	記入なし	延べ件数
前期	118	1	3	1	104	9	-	118
%	65.6	0.8	2.5	0.8	88.1	7.6	-	-
後期	62	1	1	1	56	4	1	64
%	34.4	1.6	1.6	1.6	90.3	6.5	1.6	-
計	180	2	4	2	160	13	1	182
%	100.0	1.1	2.2	1.1	88.9	7.2	0.6	-



⑨<そけい外陰部>

単位：件

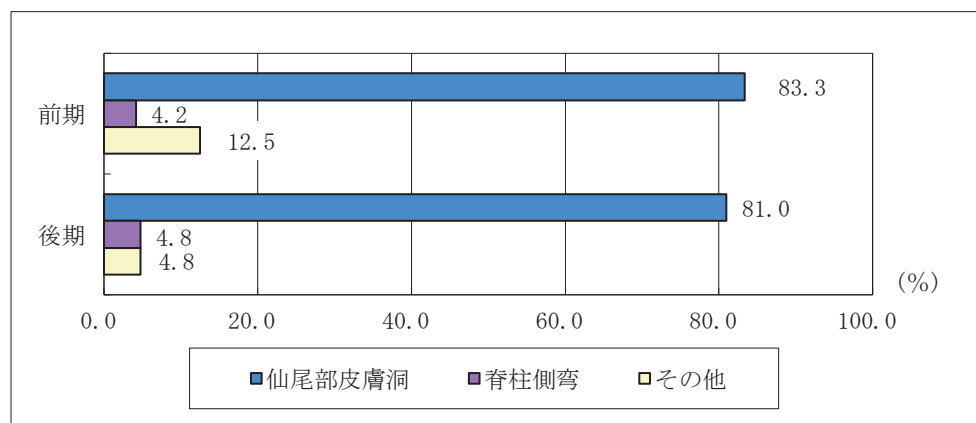
件数		そけいヘルニア	停留辜丸	陰のう水腫	尿道下裂	女児の外陰部異常	肛門の異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	113	18	27	31	4	15	3	19	-	117
%	41.5	15.9	23.9	27.4	3.5	13.3	2.7	16.8	-	-
後期	159	12	105	9	6	7	4	18	1	162
%	58.5	7.5	66.0	5.7	3.8	4.4	2.5	11.3	0.9	-
計	272	30	132	40	10	22	7	37	1	279
%	100.0	11.0	48.5	14.7	3.7	8.1	2.6	13.6	0.9	-



⑩<背部>

単位：件

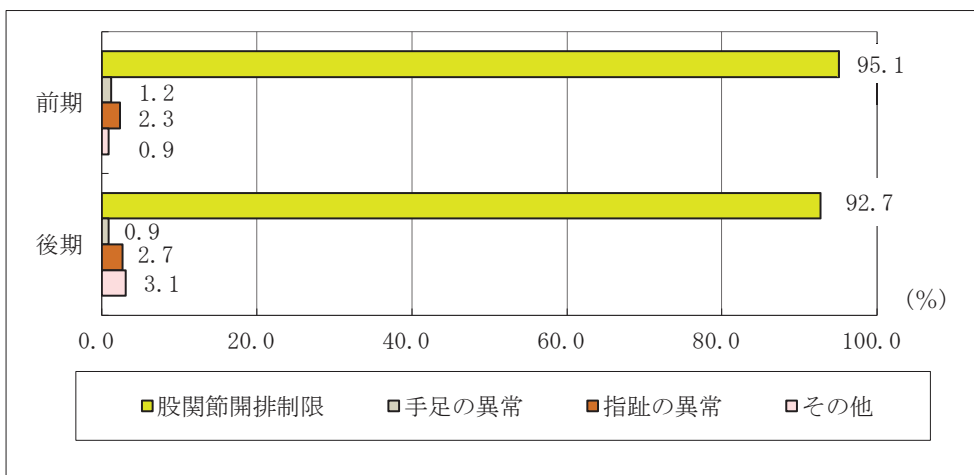
件数		仙尾部皮膚洞	脊柱側弯	その他	記入なし	延べ件数
前期	24	20	1	3	1	25
%	53.3	83.3	4.2	12.5	4.2	-
後期	21	17	1	1	2	21
%	46.7	81.0	4.8	4.8	9.5	-
計	45	37	2	4	3	46
%	100.0	82.2	4.4	8.9	6.7	-



⑪<四肢>

単位：件

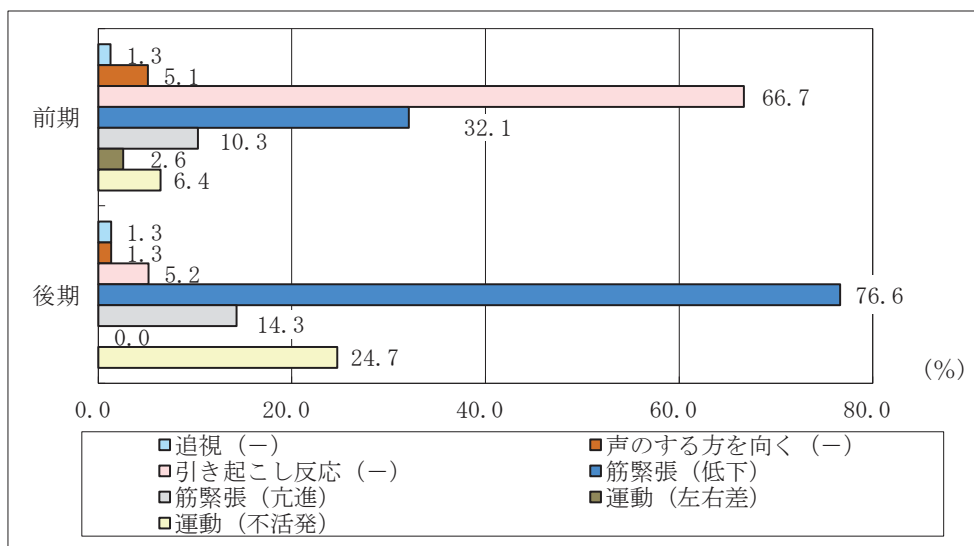
件数		股関節 開排制限	手足の 異常	指趾の 異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	809	769	10	19	7	6	811
%	64.2	95.1	1.2	2.3	0.9	0.7	-
後期	451	418	4	12	14	5	453
%	35.8	92.7	0.9	2.7	3.1	1.1	-
計	1,260	1,187	14	31	21	11	1,264
%	100.0	94.2	1.1	2.5	1.7	0.9	-



⑫<発達・神経>

単位：件

件数		追視 (-)	声のする 方を向く (-)	引き起こし 反応(-)	筋緊張 (低下)	筋緊張 (亢進)	運動 (左右差)	運動 (不活発)	延べ件数
前期	78	1	4	52	25	8	2	5	97
%	50.3	1.3	5.1	66.7	32.1	10.3	2.6	6.4	-
後期	77	1	1	4	59	11	-	19	95
%	49.7	1.3	1.3	5.2	76.6	14.3	-	24.7	-
計	155	2	5	56	84	19	2	24	192
%	100.0	1.3	3.2	36.1	54.2	12.3	1.3	15.5	-



7-2 検査結果の内訳

貧血検査

貧血検査においては、要精査は623人(4.2%)、栄養相談が必要な児は、2,519人(16.8%)となり、フォローの対象となる要精査・栄養相談は計3,142人(21.0%)となっている。未検査は187人となっている。

単位：人

		要精査 9.9 g/dl 以下	栄養相談 10.0～ 10.9 g/dl	正常 11.0 g/dl 以上	未検査	計
後 期	男	415	1,371	5,871	115	7,772
	女	208	1,148	5,788	72	7,216
	計	623	2,519	11,659	187	14,988
	%	4.2	16.8	77.8	1.2	100.0

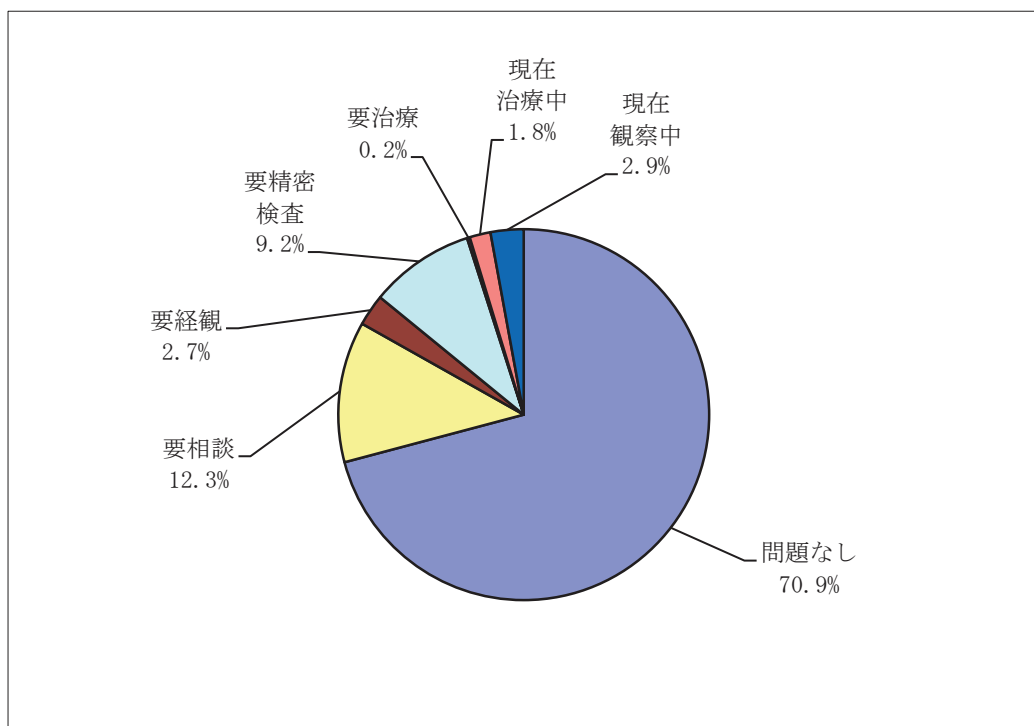
(参照) 統計資料 No. 7～8

8 総合判定

受診者数30,095人、うち問題なし児が22,305人、判定結果異常等あり児が7,790人となっている。

判定結果を複数ある判定内容も含めて分類すると、問題なし22,305件、何らかの判定あり全てを含めると9,168件で、延べ31,473件となっている。

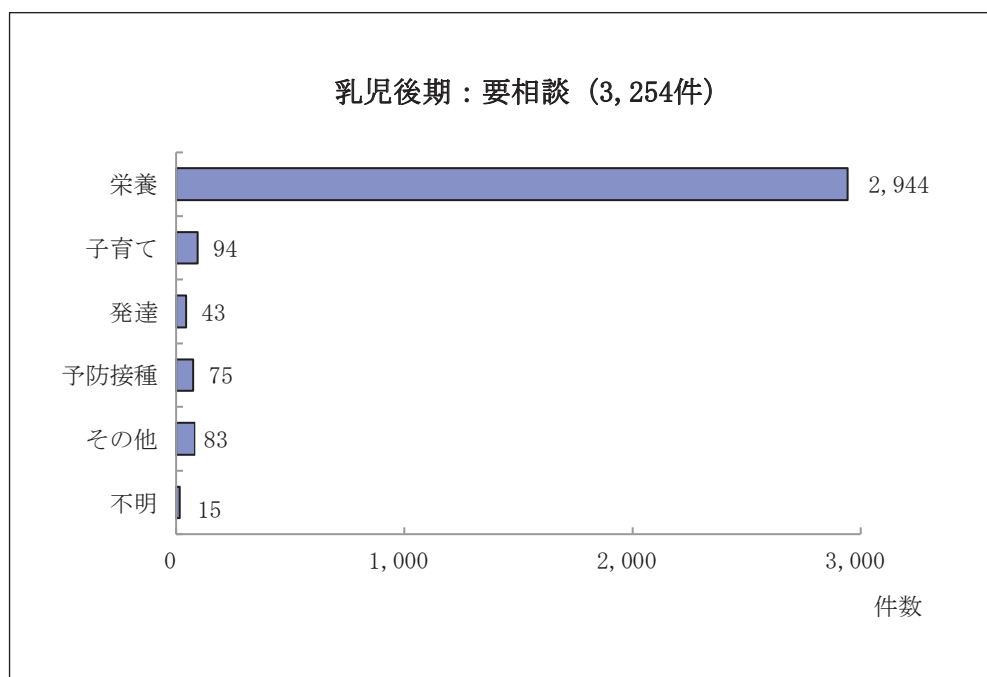
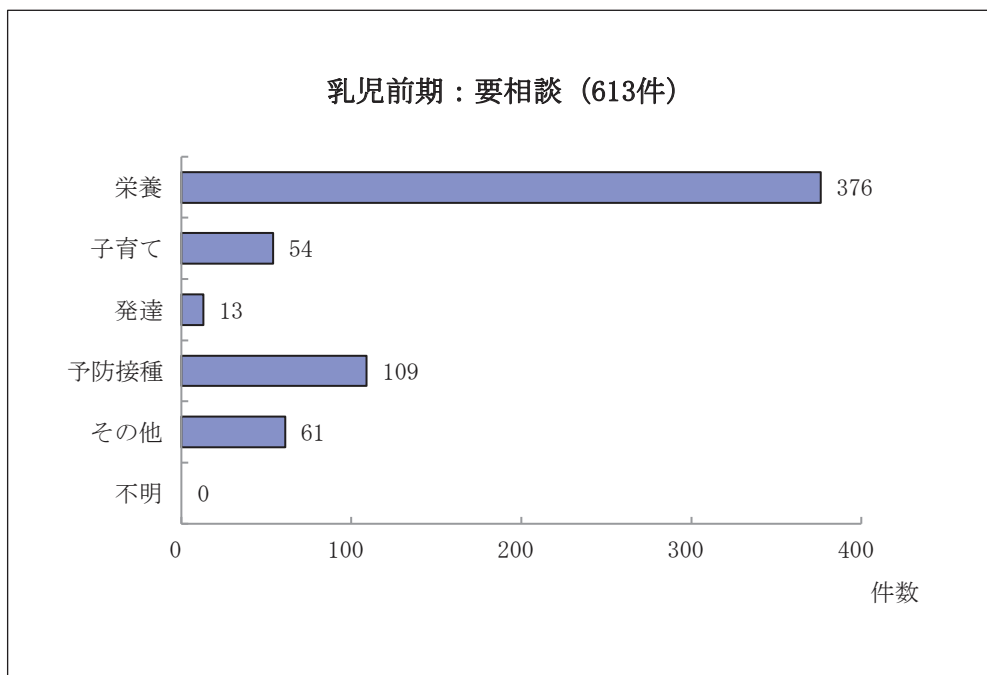
判定		問題なし	判定結果異常等（実人員）						小計
			要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中	
受診者数	30,095	22,305	2,998	769	2,717	67	491	748	7,790
%	100.0	74.1	10.0	2.6	9.0	0.2	1.6	2.5	-
延べ件数	31,473	22,305	3,867	864	2,880	77	575	905	9,168
前期	15,419	12,611	613	282	1,160	30	262	461	2,808
後期	16,054	9,694	3,254	582	1,720	47	313	444	6,360
%	100.0	70.9	12.3	2.7	9.2	0.2	1.8	2.9	-



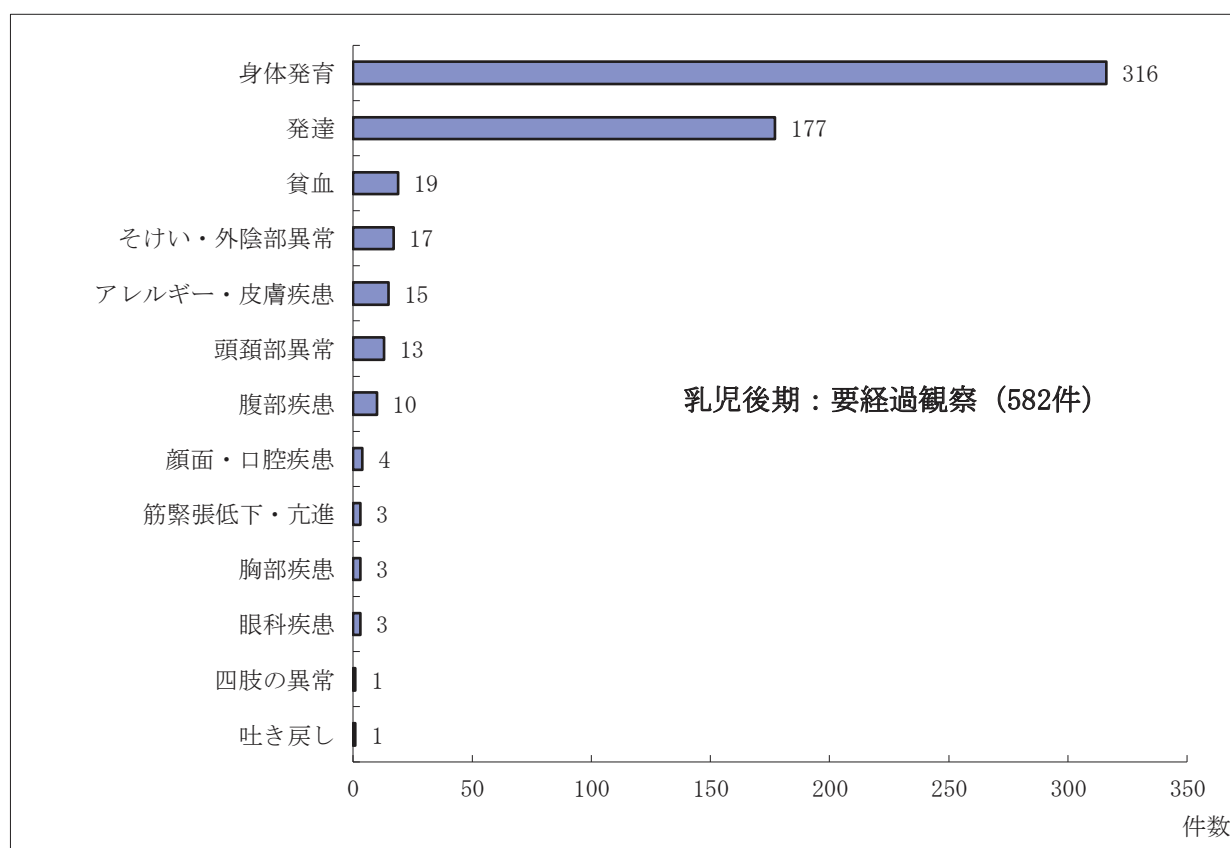
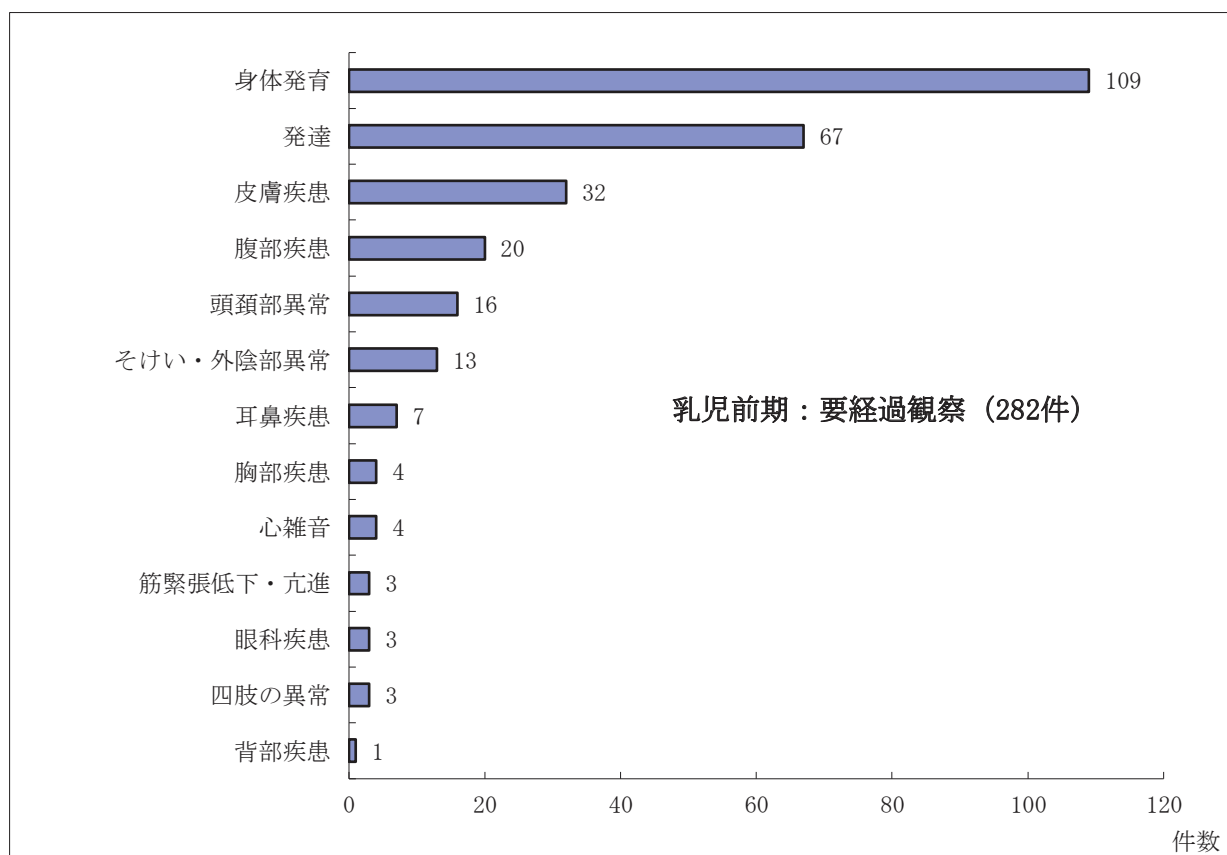
(参照) 統計資料 No. 3~6 経年比較資料 No. 23

8-1 要相談について

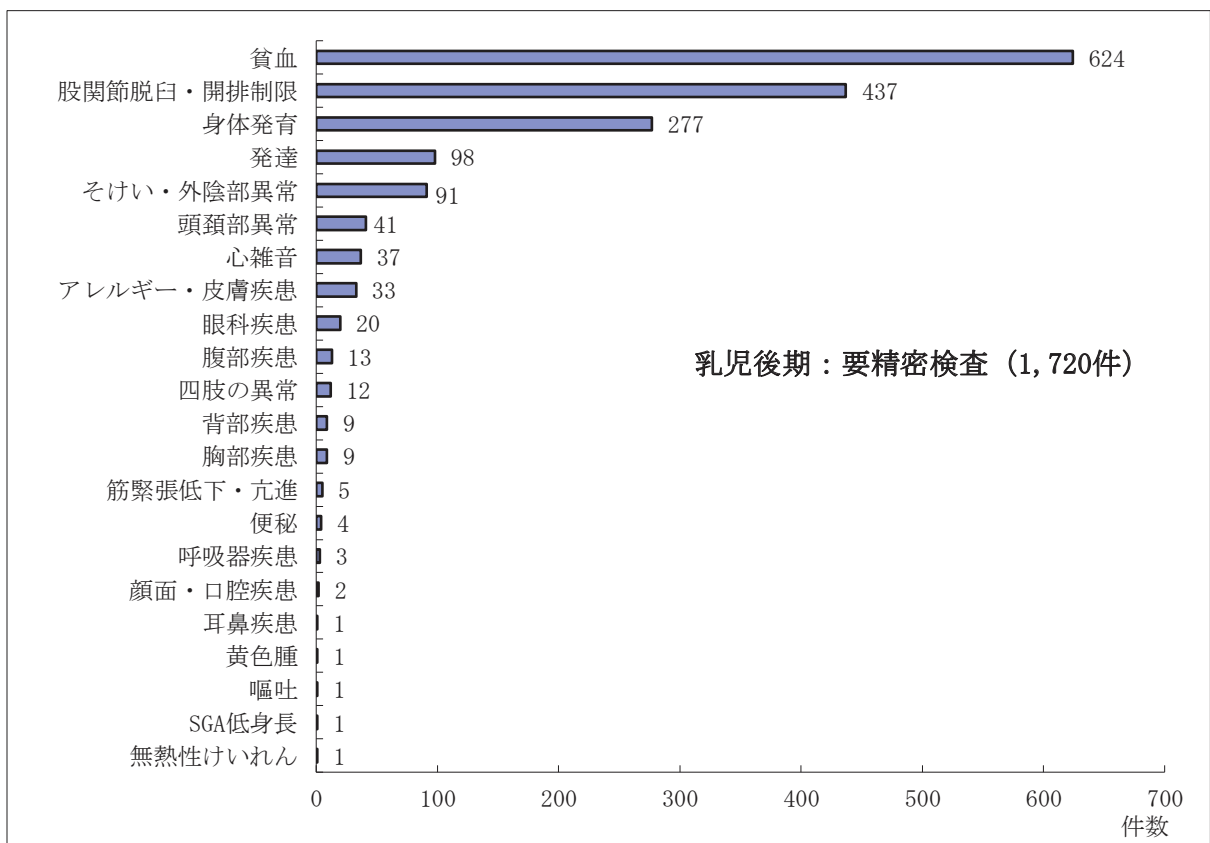
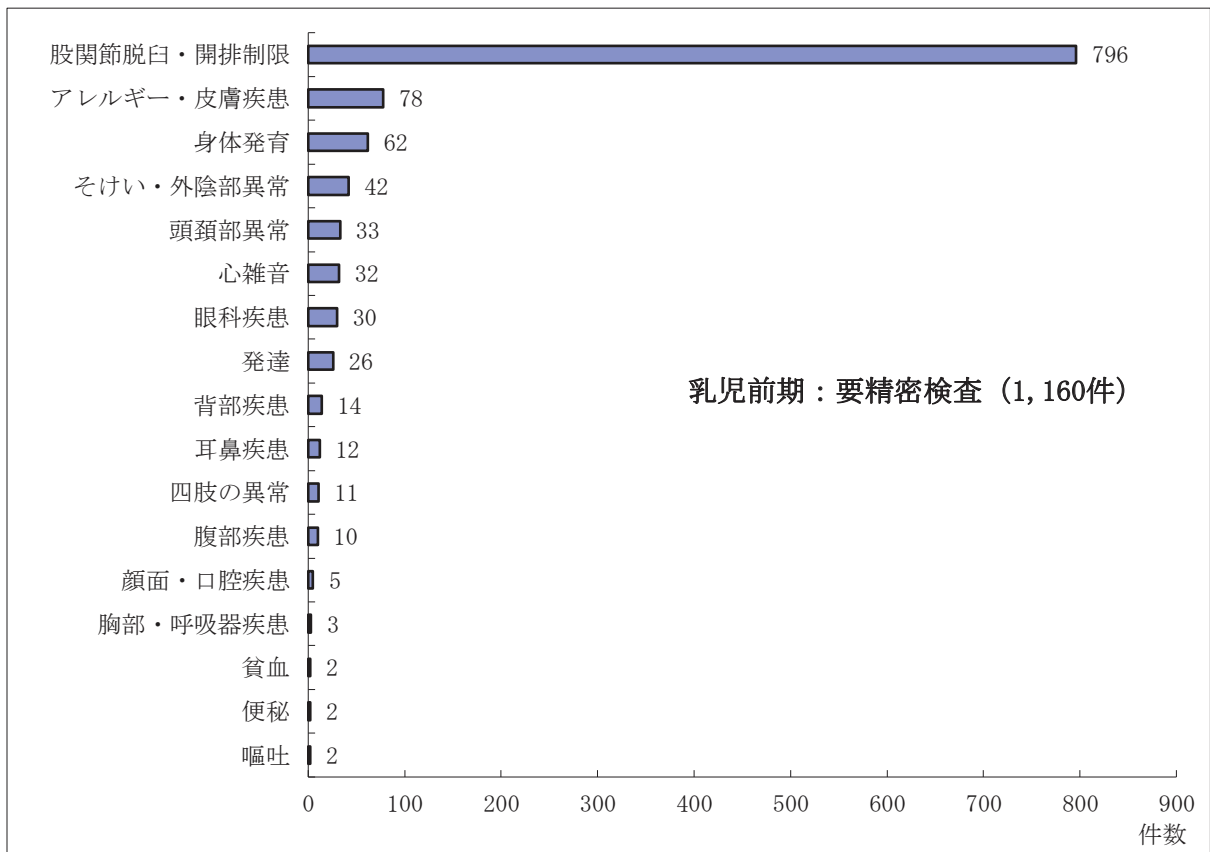
医師の診察結果で相談が必要な場合、専門職へつなぐ内容を示したものである。
項目においては複数の判定記入があり、それらも含め分類した。



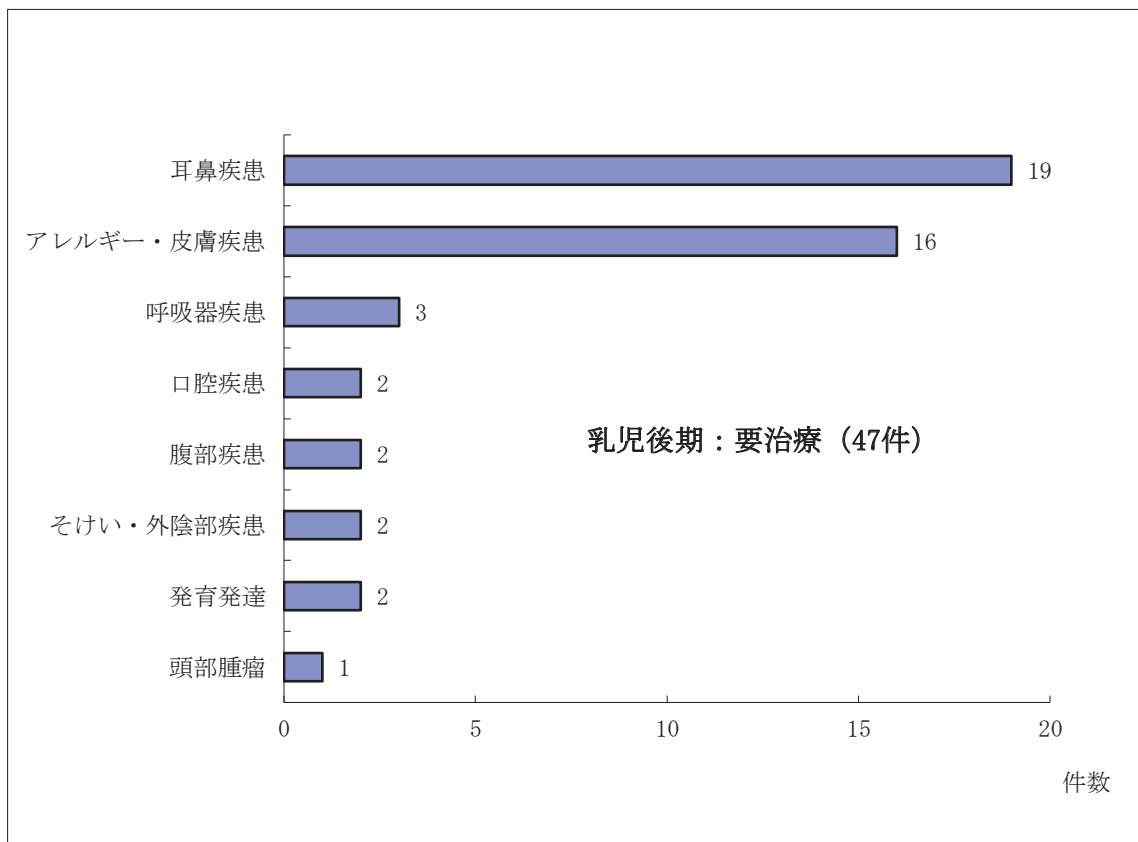
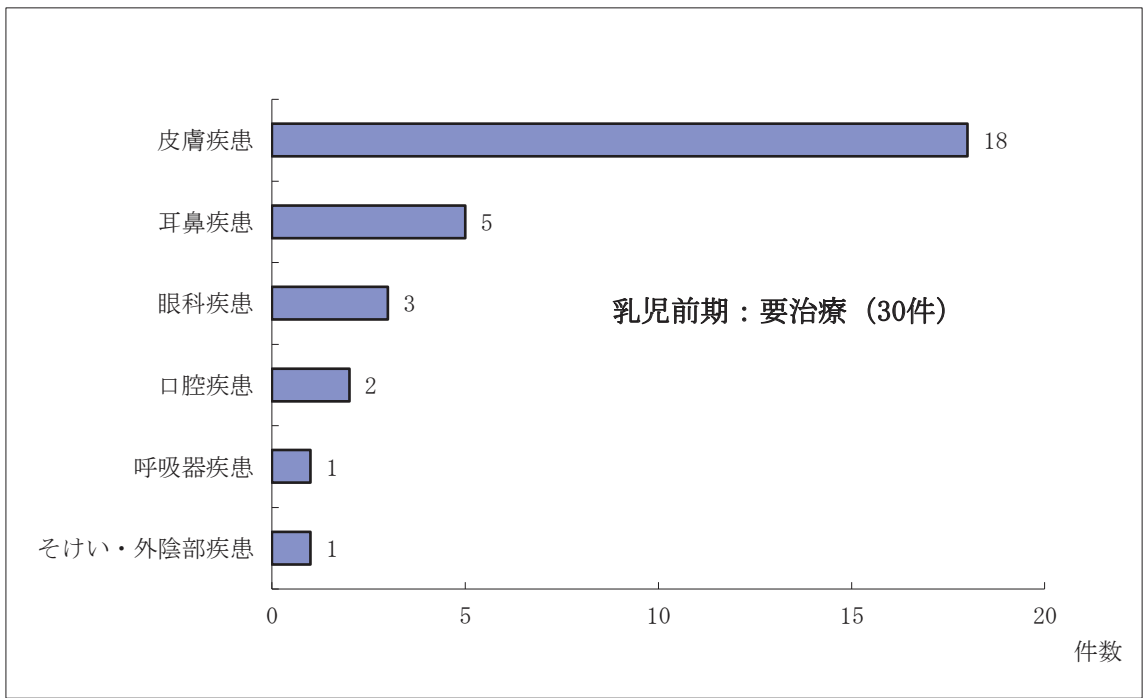
8-2 要経過観察について



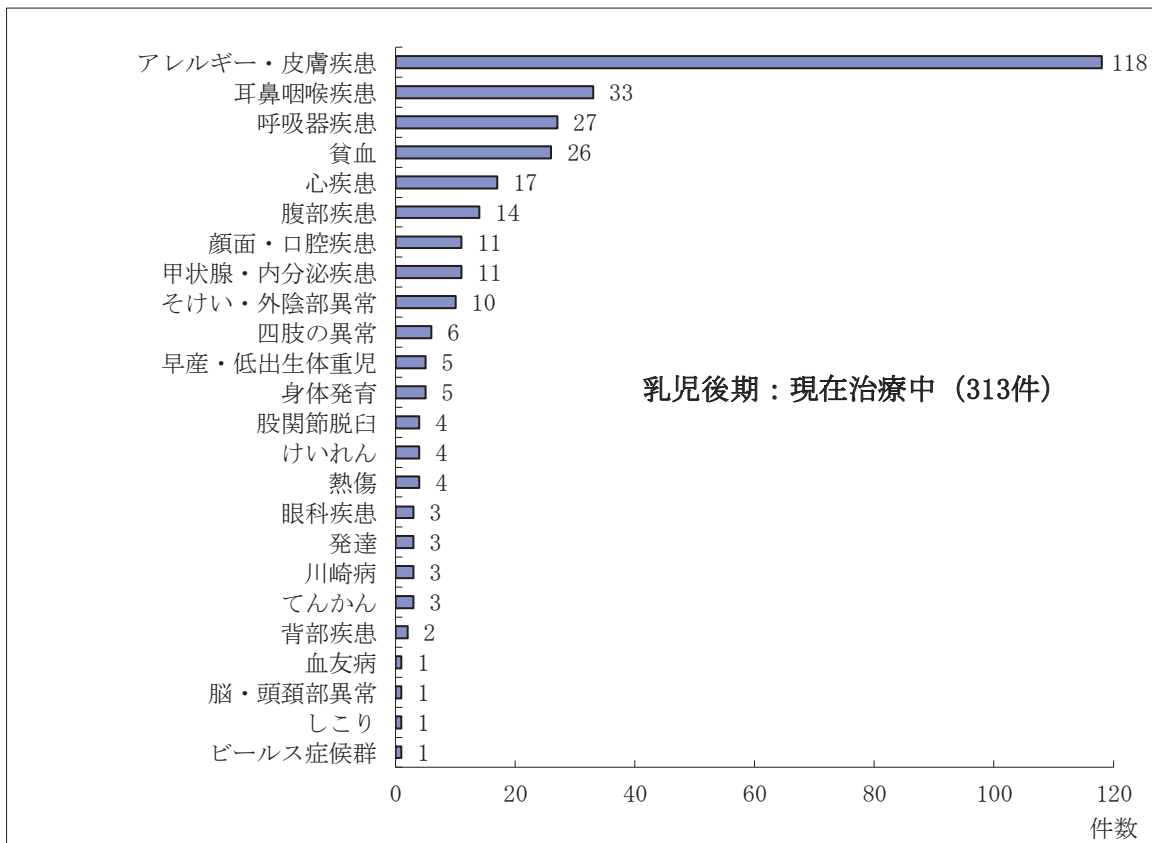
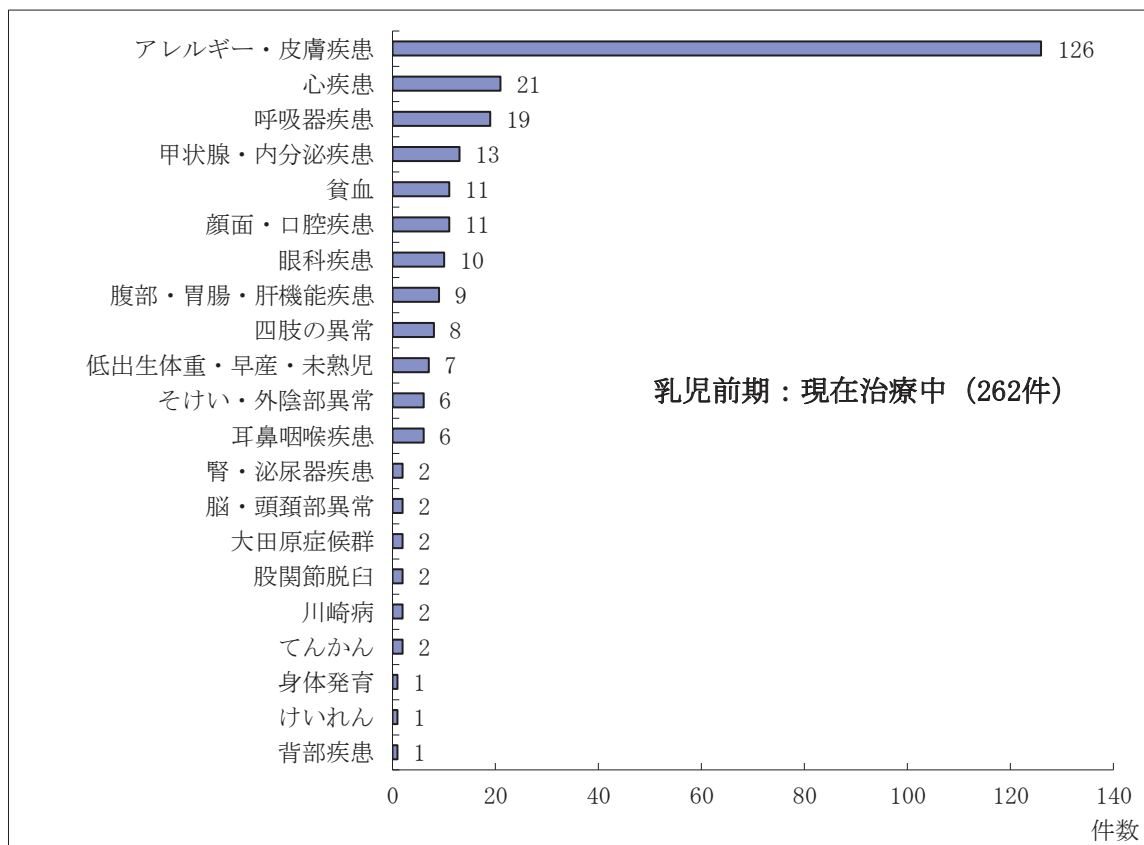
8-3 要精密検査について



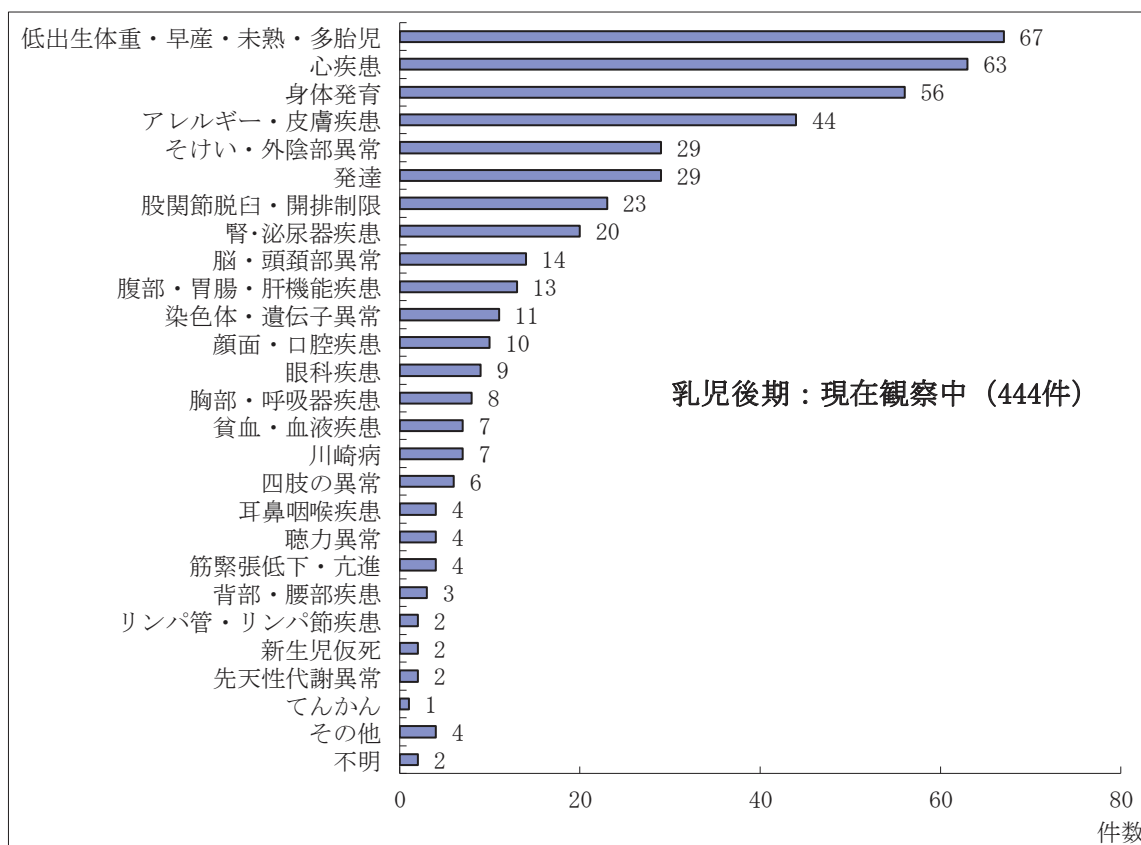
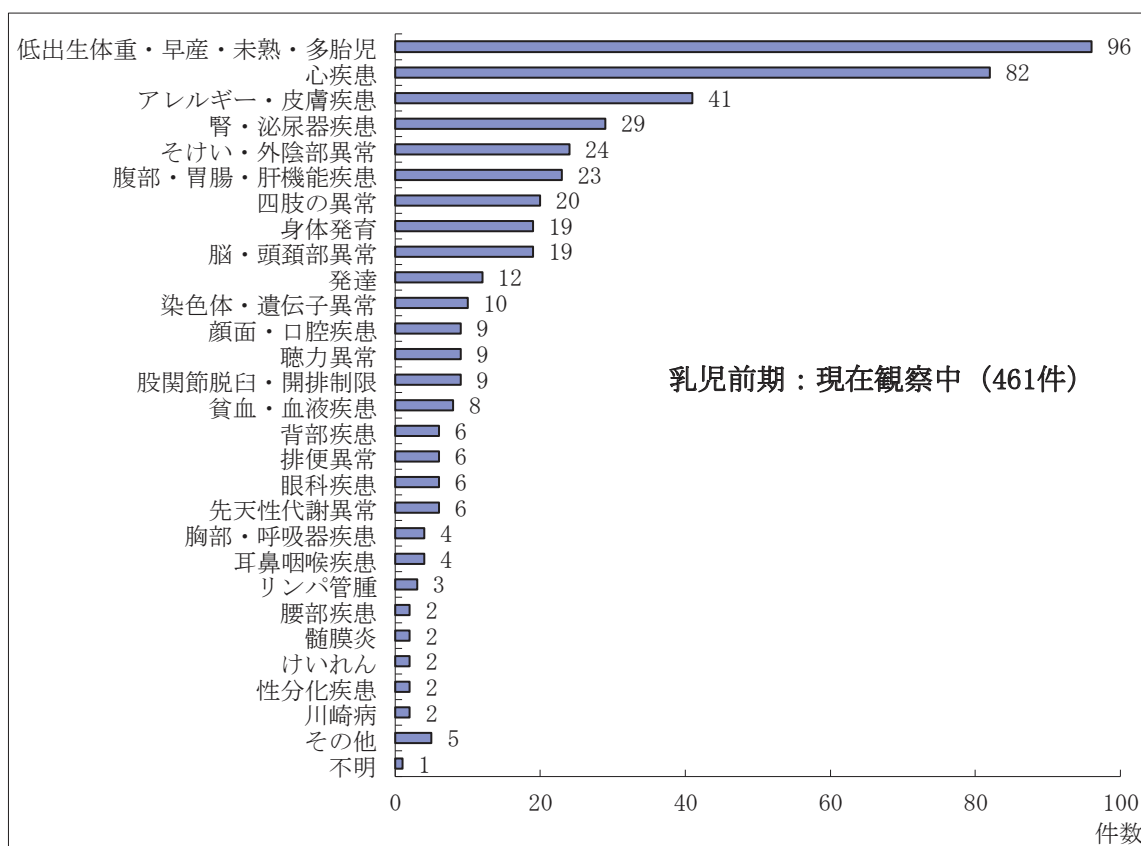
8-4 要治療について



8-5 現在治療中について



8-6 現在観察中について



9 問診・保健相談等の対応

9-1 保健師による問診からの区分

問診からの区分は、問診担当保健師から各専門職へ、該当児等に関し特に配慮して欲しい内容をメッセージとして届けるためのチェック欄である。以下は、その内容項目を示したものである。

	実人員	配慮する項目の分類							
		延べ件数	栄養	家族状況	予防接種	子育て	発達	生活リズム	主訴
実人員	13,771	15,695	2,337	39	373	882	452	168	11,444
実人員に対する割合	%	-	17.0	0.3	2.7	6.4	3.3	1.2	83.1

(参照) 統計資料 No. 13

9-2 保健師による保健相談状況

保健師による保健相談の対応と医師による総合判定状況を示したものである。

保健師による			医師の総合判定 (実人員)						
保健相談	受診者数	%	問題なし	要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中
要経観	4,602	15.3	956	603	546	2,238	9	77	173
結果説明	21,360	71.0	17,957	2,044	169	299	52	362	477
記入なし	4,133	13.7	3,392	351	54	180	6	52	98
計	30,095	-	22,305	2,998	769	2,717	67	491	748
%	-	100.0	74.1	10.0	2.6	9.0	0.2	1.6	2.5

(参照) 統計資料 No. 14

9-3 保健師による相談内容

保健師の保健相談で要経過観察とした内容を医師の指示と併せて示したものである。

	実人員	要経過観察内訳									
		延べ件数	栄養	子育て	発達	発育	生活習慣	検査	疾病	その他	記入なし
保健師	4,602	5,054	672	240	507	631	36	1,642	181	226	919
	%	-	14.6	5.2	11.0	13.7	0.8	35.7	3.9	4.9	20.0
医師	769	864	-	-	244	425	-	19	176	-	-
	%	-	-	-	31.7	55.3	-	2.5	22.9	-	-

(参照) 統計資料 No. 15

10 栄養相談の対応

10-1 栄養士による相談有無と第何子

栄養士の相談対応有無とその児が第何子かについて集計したものである。

受診月齢	受診者数	第1子		第2子		第3子		第4子		第5子以上		不明	
		相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし
前期	15,107	5,625	363	3,880	958	2,084	679	735	273	281	119	95	15
%	100.0	37.2	2.4	25.7	6.3	13.8	4.5	4.9	1.8	1.9	0.8	0.6	0.1
後期	14,988	5,795	359	3,920	863	2,057	568	710	216	271	102	95	32
%	100.0	38.7	2.4	26.2	5.8	13.7	3.8	4.7	1.4	1.8	0.7	0.6	0.2

注) 栄養相談の内容に記載があるものを対象とした。

(参照) 統計資料 No. 16

10-2 栄養士による相談有無とHb値

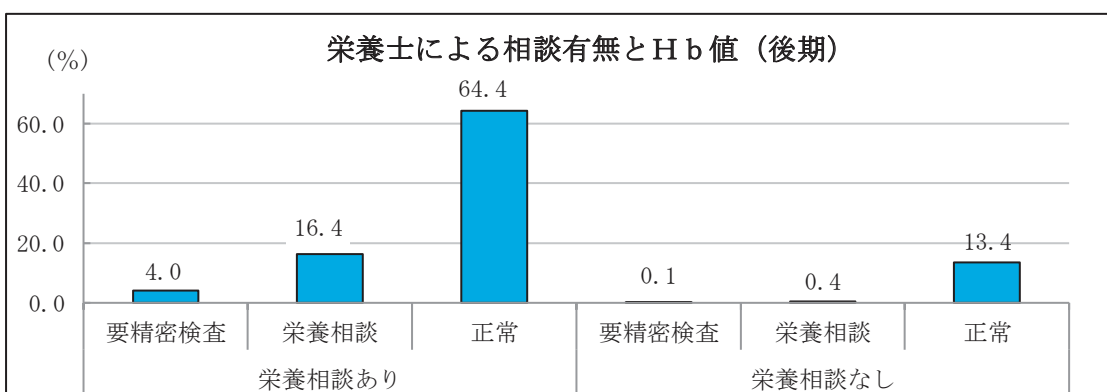
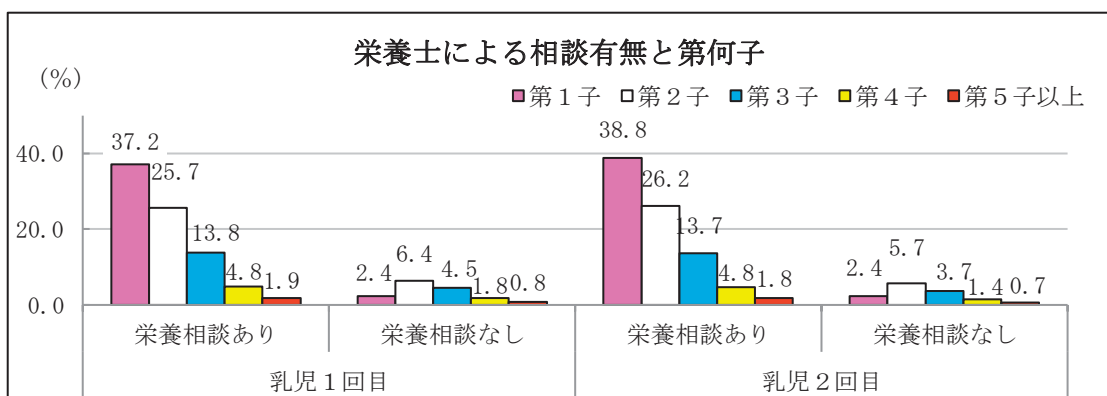
栄養士の相談対応有無とその児のHb値について集計したものである。

受診月齢	受診者数	栄養相談あり			栄養相談なし			貧血検査 未実施
		要精査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0以上	要精査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0以上	
後期	14,988	601	2,459	9,646	22	60	2,013	187
%	100.0	4.0	16.4	64.4	0.1	0.4	13.4	1.2

注) 栄養相談の内容に記載があるものを対象とした。

注) 平成28年度より貧血検査は後期(7か月~11か月児)のみ実施

(参照) 統計資料 No. 17





ワンポイント

かかりつけ医を決めている

